

環境活動レポート

(2012年6月～2013年5月)



2013年9月発行



目次

1. 経営理念 環境方針	1
1-1. 経営理念	1
1-2. 環境方針	1
1-3. リサイクル・リユース	1
2. 事業活動の概要	2
2-1. 事業活動の概要.....	2
2-2. 事業所名および代表者名	2
2-3. 所在地.....	2
2-4. 環境管理責任者氏名および連絡先	2
2-5. 事業の規模.....	2
2-6. 認証・登録の対象組織・活動	2
3. 組織	3
3-1. 実施体制図.....	3
3-2. 各役割の責任と権限	4
4. 環境目標とその実績	5
4-1. 目標値	5
4-2. 実績値	6
5. 環境活動の取り組み結果とその評価	7
5-1. 二酸化炭素排出量の削減	7
5-2. ゴミ排出量削減.....	8
5-3. 水使用量削減	9
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	10
7. 地域環境活動への参加	10
8. 代表者による評価	11



1. 経営理念 環境方針

1-1. 経営理念

「本物を創る」

日本特殊光学樹脂株式会社は、「本物を創る」という社訓のもと、社員が一丸となって、「本物」のモノづくりに取り組んでいます。他ではできない、最高の品質・性能の製品生産を日々追求し、常に工夫を、挑戦を、忘れずに、最先端の加工技術で、お客様のご要望にお応えします。

同時に地球環境への配慮、個人情報保護など、「本物」を創造する企業に必要な不可欠な要素も経営の最重要課題の中にあげ、「本物の町工場」を目指す。それが日本特殊光学樹脂株式会社の経営です。

1-2. 環境方針

NTKJは高度な製品を世に送り出すとともに、地球環境の保全にも取り組み、豊かで快適な地球環境を次世代に引き継いでいくことを責務と考え、以下環境方針を定め、企業として社会に貢献していきます。

事業活動に伴う環境負荷を最小にするために、次の取り組みを行います。

- ・生産工程における歩留向上
- ・二酸化炭素排出量の削減
- ・排出物の分別による再資源化と廃棄物の削減を推進
- ・節水による水使用量の削減
- ・グリーン購入の促進
- ・化学薬品類の管理の徹底

事業活動に伴う環境関連法規等を順守します

- ・地域活動における環境活動に参加し、社会貢献活動を推進します。
- ・教育・訓練により、従業員の環境に関する知識と意識を高めます。
- ・環境方針を公開し、全従業員に周知します。

1-3. リサイクル・リユース

当社からの廃棄物を極力低減し、リサイクル活動に努めます。

- ・プラスチック原材料のリサイクル・リユース
- ・金型原材料のリサイクル・リユース
- ・産業廃棄物の分別による資源のリサイクル

従業員の環境への意識を高め、全員で環境問題に取り組めます。

2011年1月5日制定
代表取締役 佐藤公一



2. 事業活動の概要

2-1. 事業活動の概要

日本特殊光学樹脂株式会社 (NTKJ) は、高精度プラスチックレンズメーカーとしてフレネルレンズ、レンチキュラーレンズ、平面プリズム、リニアフレネルレンズ、フライアイレンズ、導光板、非球面レンズなどプラスチック製光学部品に関して、小型の製品から、超大型の製品まで特殊レンズの製造・販売を行っております。

2-2. 事業所名および代表者名

事業所名： 日本特殊光学樹脂 株式会社
代表者名： 佐藤 公一

2-3. 所在地

本社： 東京都板橋区新河岸 3-7-10
熊谷工場： 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原 138-6

2-4. 環境管理責任者氏名および連絡先

責任者： 石田 昇平
副責任者： 関谷 忠明
連絡先： info@ntkj.co.jp

2-5. 事業の規模

資本金： 1000 万円
従業員数： 25 人
設立： 1978 年 6 月 (昭和 53 年)
工場延べ床面積： 7700m²

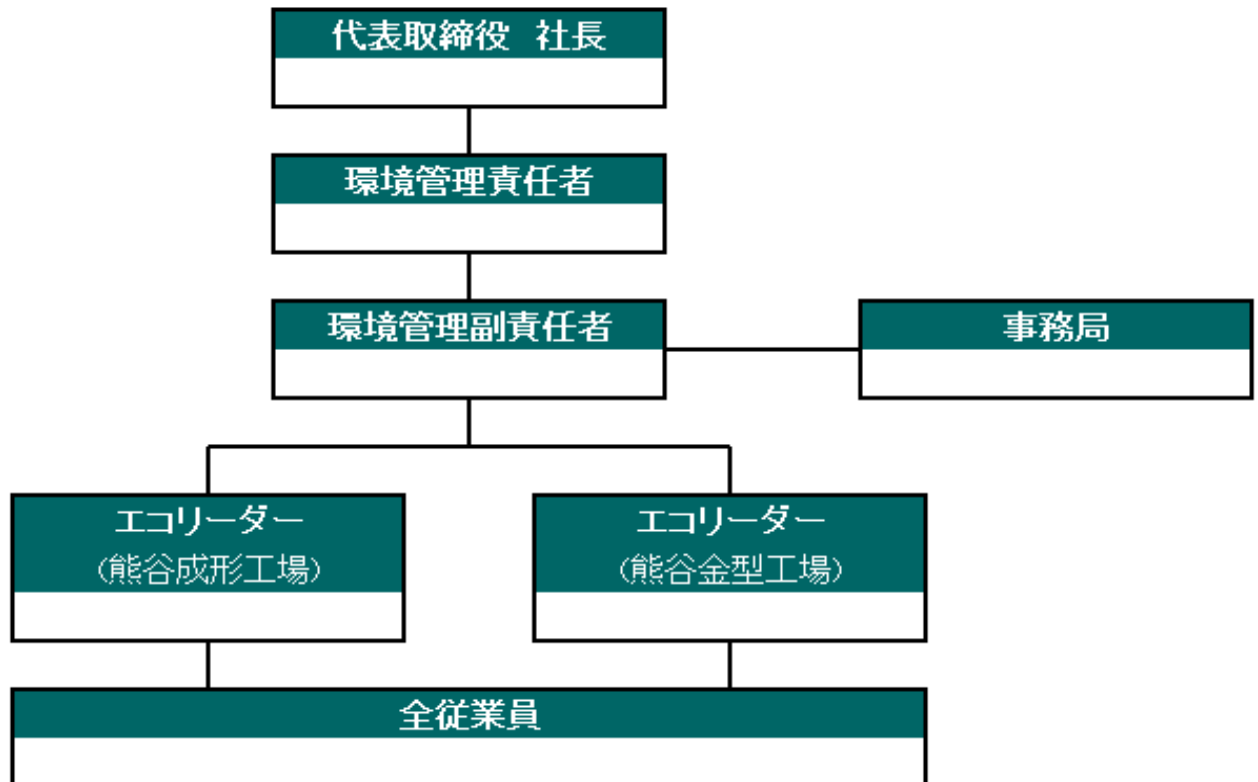
2-6. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 日本特殊光学樹脂株式会社
関連事業所： 本社事務所
熊谷工場
活動： プラスチックレンズ及び金型の製造販売



3. 組織

3-1. 実施体制図





3-2. 各役割の責任と権限

役割	主な責任と権限
社長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境方針の制定 2. 環境責任者の指名 3. 経営資源（人、設備、情報等）の提供 4. EA21取組状況の評価と改善指示 5. 環境目標、環境活動計画書策定時の承認
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21の構築と運用 2. 遵法性評価 3. 環境目標と活動計画の実施状況の検討 4. コミュニケーション記録、是正・予防記録の承認 5. 社長にEA21の運用状況の報告 6. 手順書の承認
環境管理副責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者に準ずる責任と権限を事業所ごとに負う 2. 環境管理責任者への報告
エコアクション事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書の管理 2. 定例会議開催の案内と議事録の作成 3. 環境に関するデータのまとめ 4. 対外部の窓口 5. 組織変更時の官公への届出
エコリーダー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門に関する目標、活動計画の実施責任 2. EA21の周知、徹底と教育の計画 3. 活動計画の討議、目標のフォロー 4. 事務局業務（文書管理、対外部窓口） 5. 是正・予防の対策立案と実施責任者 6. 緊急事態の訓練責任者
一般従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門に関する目標、活動計画の実施 2. 緊急事態への対応 3. 教育訓練の受講 4. 省エネ、分別排出、薬品管理等、決められた事の実施

4. 環境目標とその実績

4-1. 目標値

中長期目標として2015年度までの目標を設定。

目標値は2010年度比

項目	基準年度 2010年	単位	トライアル期間	目標値		
			2011年1~5月	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素削減	580,925	kg-CO ₂	-0.3%	-1.8%	-2.6%	-3.4%
			579,182	570,468	565,821	561,174
電力消費量削減 (成形工場)	285,976	kWh	-0.3%	-1.8%	-2.6%	-3.4%
			285,118	280,828	278,541	276,253
電力消費量削減 (金型工場)	704,738	kWh	-0.3%	-1.8%	-2.6%	-3.4%
			702,624	692,053	686,415	680,777
重油消費量削減	59,000	L	-0.3%	-1.8%	-2.6%	-3.4%
			58,823	57,938	57,466	56,994
ゴミ排出量削減	1,718	kg	-0.3%	-1.5%	-2.0%	-2.5%
			1,713	1,692	1,684	1,675
水使用量削減	1,175	m ³	-0.3%	-1.5%	-2.0%	-2.2%
			1,171	1,157	1,152	1,149
化学薬品管理			管理の徹底とムダ遣いの削減			
グリーン購入推進			備品類のグリーン購入100%			
歩留向上			歩留99.9%			
地域環境活動			地域活動に積極的に参加する			
※上表の数値は、上段は削減率、下段は使用量(排出量)を示す。 削減率は基準年度2010年度からの割合を示す 年度は6月1日~翌5月31日までを示す。						

注記: 購入電力の排出係数は、2011年度の東京電力二酸化炭素係数 $0.463\text{kg-co}_2/\text{kwh}$ で計算



4-2. 実績値

2012年度実績値

項目	単位		基準年度		トライアル期間	実績値
			2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
二酸化炭素削減	kg-CO2	削減目標	-	-	-0.3%	-1.0%
		目標値	-	-	579,182	575,116
		実績値	603,914	580,925	441,347	543,768
		実績比	-	-	-23.8%	-5.5%
電力消費量削減 (成形工場)	kWh	削減目標	-	-	-0.3%	-1.0%
		目標値	-	-	285,118	283,116
		実績値	254,142	285,976	281,297	281,834
		実績比	-	-	-1.3%	-0.5%
電力消費量削減 (金型工場)	kWh	削減目標	-	-	-0.3%	-1.0%
		目標値	-	-	702,624	697,691
		実績値	714,165	704,738	601,708	664,371
		実績比	-	-	-14.4%	-4.8%
重油消費量削減	L	削減目標	-	-	-0.3%	-1.0%
		目標値	-	-	58,823	58,410
		実績値	71,000	59,000	24,000	39,000
		実績比	-	-	-59.2%	-33.2%
ゴミ排出量削減	kg	削減目標	-	-	-0.3%	-1.0%
		目標値	-	-	1,713	1,701
		実績値	1,314	1,718	1,400	1,241
		実績比	-	-	-18.3%	-27.0%
水使用量削減	m ³	削減目標	-	-	-0.3%	-1.0%
		目標値	-	-	1,171	1,163
		実績値	1,940	1,175	733	939
		実績比	-	-	-37.4%	-19.3%

注記: 購入電力の排出係数は、2011年度の東京電力二酸化炭素係数 $0.463\text{kg-co}_2/\text{kwh}$ で計算

5. 環境活動の取り組み結果とその評価

5-1. 二酸化炭素排出量の削減

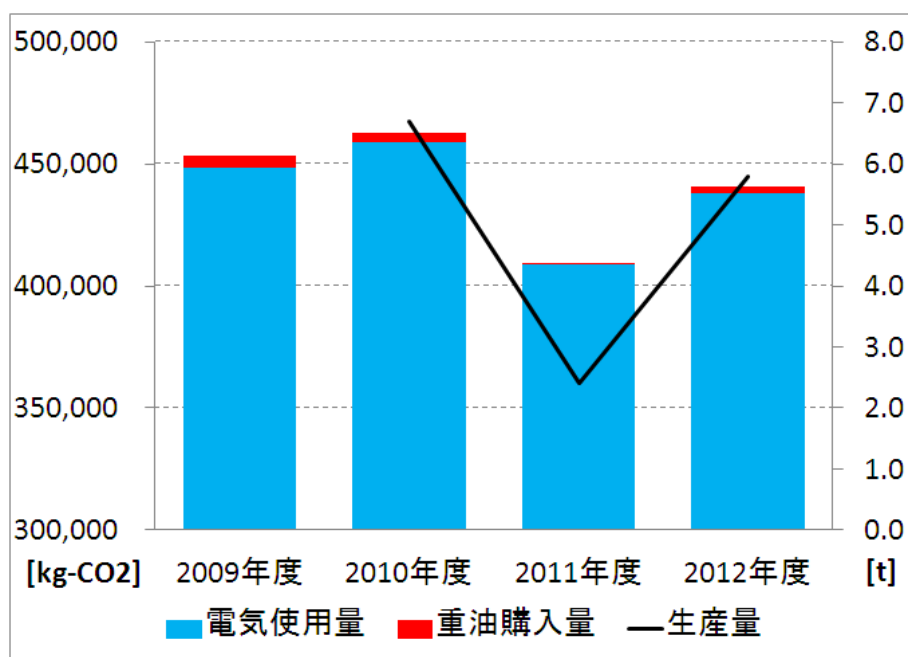
① 購入電力の削減

- ・ヒーターの自動電源投入の時間をタイマーを使い、時間差をつけることで無駄な運転を行わないように設定。また、設定時間を各設備に表示し、臨機応変に対応できるようにマグネットの表示でアダプタ方式にした。
- ・夏場のみ室外機によしずを設置。
- ・加工工程で使用する設備を徐々に効率化できる設備に移行する事により、消費電力を節約する事ができた。

② 重油消費量削減

- ・引き続き、工場内の定温化を実施。

■年度別の二酸化炭素排出量と売上量の関係



2012年10月に生産拠点の統一化があり設備が増加され、それに伴い本事業所での生産量も増加。2011年度は3.11震災後の年度でもあり前年との比較では増加しているが、2010年度との比較では削減されている。今後も、現状を維持・継続しつつ、新たな案をねん出し更なる削減をめざす。

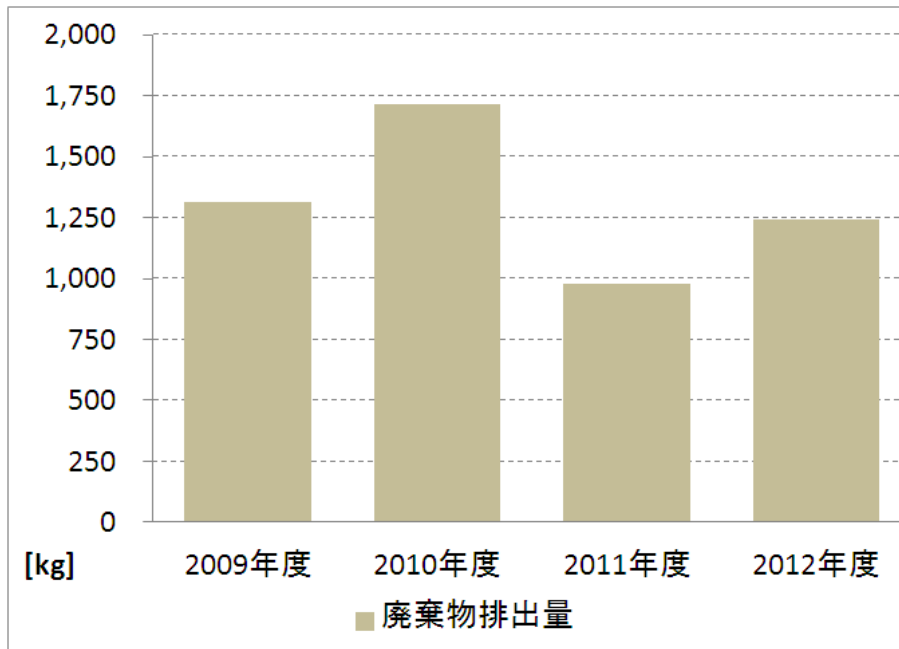
評価: 必要最低限の対策は少しずつ取れていることは評価する。

夏場のよしずの設置のタイミングを早くすること。

本来の優先目標である「不良率の削減」「生産の効率化」による対生産量での二酸化炭素排出量を今後重点的に対策して欲しい。

5-2. ゴミ排出量削減

- ・ゴミ出しを分業制にする事により、意識の改善で削減の効果がでた。
- ・梱包を箱から袋にする事により、ムダがなくなった。



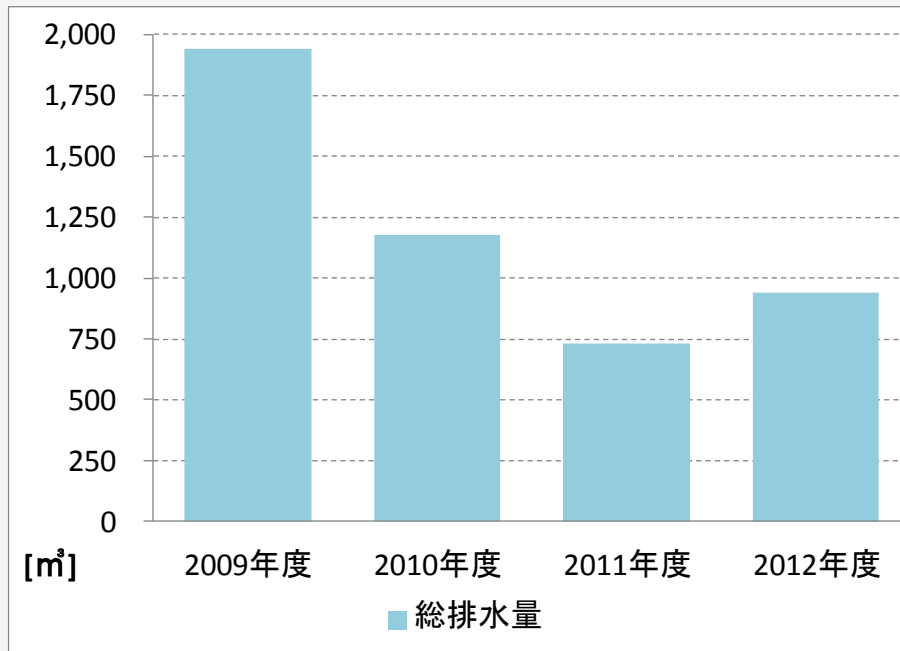
二酸化炭素排出量の項と同様、生産拠点の統一化があり、引っ越しのでの廃棄物が多くあり前年度と比較すると、増加だが 2009 年度・2010 年度よりは減少している。但し、拠点統一化の作業は継続中の為、今年度は維持・継続する事に努める。

評価: 梱包資材、梱包方法の見なおしや、リサイクル化の可能性をさらに進めてもらいたい。



5-3. 水使用量削減

- ・各従業員が意識的に節水を心がけている。
- ・工程的に大量に水を使用する事がないが、必要な場合でもできるだけ少量で済むように意識する。



評価：現在も最低限の使用量で業務を行っているようだが、引き続き節水に努めてもらいたい。



6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境法規制違反はありません。

また、訴訟及び関係当局からの違反の指摘も創設以来1度ありません

7. 地域環境活動への参加

毎年6月と12月に行われる工業団地内のゴミゼロ運動に参加

・2013年6月





8. 代表者による評価

情報の収集と評価 (Input)		
	システム文書	社長による評価
環境目標の達成状況、 環境活動計画の 実施状況	拠点集約という状況下の中、エコに対して、各人が意識を持った成果が2010年度比での効果であったと思う。但し、まだやれる事があるはずなので、知恵を絞って実行に移していきたい。	生産の効率化、収率の向上は喫緊の課題である。全従業員がムダの削減を意識し作業に従事するように。
法規の遵守状況	遵守できている	良
外部からの苦情・要望	近隣住民からの苦情はない また、関係当局や工業団地会からの指摘もなし	良
EA21の取組状況、 教育の状況	2013年4月取得 新人2名に対し、入社説明時にEA21の教育実施	消火訓練を早めに実施する事
前回の指導事項の 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・断熱窓は検討中 ・消火訓練は次年度に実施する計画 ・梱包資材の簡略化 	断熱窓の件は早めに実施する事

エコアクション21 環境活動レポート Vol.2.1

活動期間	2012年6月1日～2013年5月31日
発行年月	2014年3月
発行元	日本特殊光学樹脂株式会社